

市民の税金は、暮らし・福祉のために使って欲しい!

日本共産党は、市民のみなさんと共同し実現します。

お金がないのではなく
使い方が間違っているのね!

国民健康保険料

11億円で、政令市で3番目に重い負担を1世帯・1万円引き下げることができます。



さくらカード

2億3000万円で、高齢者も障がい者も無料にできます。

鍼灸・マッサージ、敬老祝金

3000万円で、年間30回を元の60回に増やせます。敬老祝品(80歳・1000円相当)を元のように、80歳から敬老祝金5000円へ

子どもや高齢者が大切にされるってうれしいね!



子ども医療費無料化

6億5000万円で窓口負担を無くし、中3まで引き上げできます。

学校給食費500円値上げ中止

2億9600万円できます。

小中学校の全教室エアコン設置

27億円で設置できます。

住宅リフォーム助成制度

3億円の予算で、地元業者へ32億円の発注。52億円の経済波及効果(鹿児島市の実績により試算)



高齢者生きがい作業所

年間356万円で市内10カ所を存続できます。

40歳～特定健診無料化

3600万円でできます。

大型ハコ物(MICE)建設は年・25億円の財政負担

維持管理費毎年9億円、借金返済は毎年16億円(20年間)

MICE建設は、現在『350億円』(事業費、再開発への補助金)の予定です。しかし、オリンピックの影響で建設資材が高騰し、「400億円」近くに増えることが予想されます。

市民1人当たり5万円、4人家族では、20万円もの負担です。その後も維持管理費、借金返済だけでも毎年25億円の市民負担が発生します。

ムダな大型ハコ物建設を止めれば
市民生活に役立つ政策がいろいろできます

日本共産党

2014年・春号

熊本市議団市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL:328-2656 FAX:359-5047
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp HP：http://www.jcp-kumamoto.com/



ますだ牧子



上野みえこ



なすまどか

困ったことのご相談は、日本共産党熊本市議団へ

3000人の大会議場が本当に必要でしょうか？

400億円の税金投入は市民生活に大打撃！

市民1人5万円
4人家族で
20万円の負担

「住民投票」で是非を問うべき 市政を左右する大事業

市民に説明もしないまま、400億円もかかる市政史上最大の大型ハコモノ建設が計画されています。こんな税金のムダづかいをすすめれば、必要な市民サービスはますます切り捨てられます。「住民投票」で建設の是非を市民に問うべきです。

利用見通しのない 3000人の大会議場

コンベンションは、小規模化しており、熊本では熊本城マラソンなど、会議場のいらぬスポーツ系が多いため、大会議場の必要性は薄いのが現状です。市の利用見通しでは、3000人以上のコンベンション開催は年7回です。

熊本商工会議所会頭の田川氏も「これほど巨額な投資に見合う会議やイベントが誘致できるのか、費用対効果についてももつと議論が必要ではないか」と、「くまもと経済」の誌上で述べています。

市景観条例を踏みにじる 海拔75mの巨大ビル

市景観条例では、熊本城からの景観を守るため、海拔55メートル以上の建物を規制しています。

桜町再開発の大会議場は、海拔75m、

しかも巨大な建物は眺望をさえぎる屏風のようなものです。熊本市が自ら、条例を踏みにじていいのでしょうか。

1400人の雇用を奪う 県民百貨店や センタープラザテナント追出し？

再開発で、県民百貨店やセンタープラザテナントの家賃は、4〜5倍に高騰し、現在の借家人は残れなくなります。地元事業者が出て行った後には、県外資本のチェーン店しか入れません。1400人の雇用が奪われます。

特に県民百貨店は、岩田屋の撤退問題が起った時に、市民や議会が協力し、商工会あがて守ってきた経過もあり、安易に撤退させられません。



安倍政権の暴走ストップ!

消費税増税をやめ、秘密保護法廃止へ!

主な議案、請願・意見書等について、会派の賛否を紹介します。
日本共産党は、市民連合提出の「特定秘密保護法に反対する意見書案」に共同提案者となり、賛成討論を行いました。
*詳細は日本共産党熊本市議団のホームページをご覧ください。

12月議会の主な議案等への会派の賛否状況

	共産	自民	未来	連合	公明	自由	教育	市政
城南図書館・児童館の民間委託(指定管理者の指定)について	●	○	○	○	○	○	○	○
産文会館解体工事契約締結について	●	○	○	○	○	○	○	○
特定秘密保護法に反対する意見書	○	●	●	○	●	●	●	●
年金削減の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●
消費税率増税中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●

未来:くまもと未来、連合:市民連合、自由:自由クラブ、教育:日本の教育を考える会、市政:市政クラブ

市民の声に背を向け

産業文化会館解体を強行 存続を求める住民監査請求署名2787人

熊本市は、市監査委員に出された3000名近い「産文解体・広場用地買収費の差し止め」を求める住民監査請求の結果が出るのを待たず、1月より産業文化会館解体工事に着手しました。住民自治を踏みにじる解体の強行は許されません。



産業文化会館解体費 3億5000万円
隣地の民間用地買収費 15億円

ムダ使いの一方で、暮らしや福祉の切り捨て！こんな市政でいいのでしょうか？

まだまだ続く市民いじめ

市民サービスの切り捨て計画がゾロゾロ

市立熊本五福・古町幼稚園の閉園

保護者の意見も聞かずに、二つの市立幼稚園の閉園計画を打ち出した熊本市。保護者をはじめ3万人分の存続を願う署名が提出されています。



市民の声を聞かずに一方的に閉園を押し付けることは許されません。

保護者の声に応え園の存続を！

廃園の理由として、入園児が少ないことを上げている熊本市。共産党市議団は、「定員を増やす努力もせずに一方的に閉園を迫ることは許されない。保護者の声を受け止め園の存続すべき」と指摘。引き続き存続に向け頑張る決意です。

高齢者生きがい作業所の廃止

陶芸などを通じて高齢者のいきがいを育てている場所が高齢者生きがい作業所です。しかし、熊本市は、「時代に合っていない」などの理由で廃止方針を打ち出しました。



生きがいを奪うことは許されない！ 存続にむけ一致協力

生きがい作業所の存続や冷暖房設置など作業所の改善を求めました。他党派とも協力し、福祉子ども委員会では機能存続にむけ最大限取り組むよう議会からの要請が、全会一致で取りまとめられています。

住民の声をまっすぐ議会に 暮らしを守る制度を実現

小中学校音楽室等へのエアコン設置

普通教室も含め全ての教室にエアコンの設置を求めてきました。第一歩として、小中学校の音楽室や特別支援学級に設置されます。

保険証の窓口留め置きをやめさせ無保険解消

いのちと健康を守る立場から、滞納を理由とした保険証の取り上げ(8000世帯の市民が無保険)を中止させ、無保険の解消が実現しました。

災害見舞金の拡充

床上浸水で5000円など、政令指定都市中もっとも低かった熊本市の災害見舞金。拡充を求め、見舞金の増額が実現しました。

区分	災害見舞金	災害見舞金			
	死亡	全壊(焼)	半壊(焼)	床上浸水	重傷
改正前	50,000円	20,000円	10,000円	5,000円	7,000円
改正後	100,000円	50,000円	30,000円	10,000円	30,000円

議員報酬の引き上げをストップ

議員の報酬や政務活動費(月20万円)の引き上げが提案される中で、「市民理解が得られず引き上げるべきではない」と主張。いずれも引き上げが現状維持となりました。

中小企業振興基本条例の制定

熊本市の経済を支えているのは中小零細業者です。他党派とも連携し、中小企業の経営を守り発展させることを目的に、中小企業振興基本条例が議会提案で実現しています。

周辺市町村と比べ遅れている 小学3年までの子ども医療費助成

子どもの医療費無料化の拡充は子育て世代の切実な願いです。多くの自治体が中学3年まで拡充する中、熊本市は小学3年まで。周辺市町村と比べても遅れています。

	対象年齢		自己負担 医科3歳以上、歯科5歳以上は 1医療機関500円
	入院	通院	
熊本市	小学3年まで	小学3年まで	
菊陽町	中学修了	中学修了	無
益城町	中学修了	中学修了	無
大津町	中学修了	中学修了	無
甲佐町	中学修了	中学修了	無
嘉島町	中学修了	中学修了	無
西原村	中学修了	中学修了	無
合志市	小学修了	小学修了	無

熊本周辺比較

学校給食費月500円の値上げ

熊本市は、今年1月より、学校給食費を500円値上げする予定です。益城町では、給食費の引き下げに町が独自の支援を計画するなど、少なくとも自治体が給食費の負担軽減に取り組んでいます。



高い熊本市の国民健康保険料。政令指定市のなかでも、京都市、堺市に続く3番目の高さです。

順位	市	保険料(円)
1	堺市	439,337円
2	京都市	431,930円
3	熊本市	426,690円
～ 中 略 ～		
18	川崎市	266,600円
19	神戸市	218,990円
20	広島市	202,310円

政令指定都市比較
(4人世帯、所得200万円)

高い国民健康保険料
政令市中3番目の高さ

暑い夏 寒い冬の

普通教室には エアコン未設置

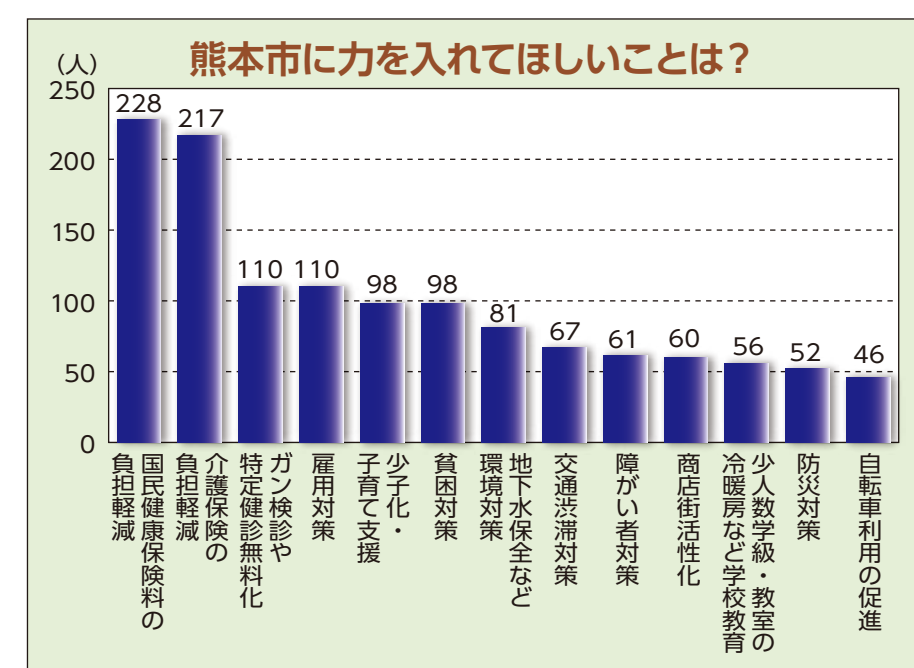
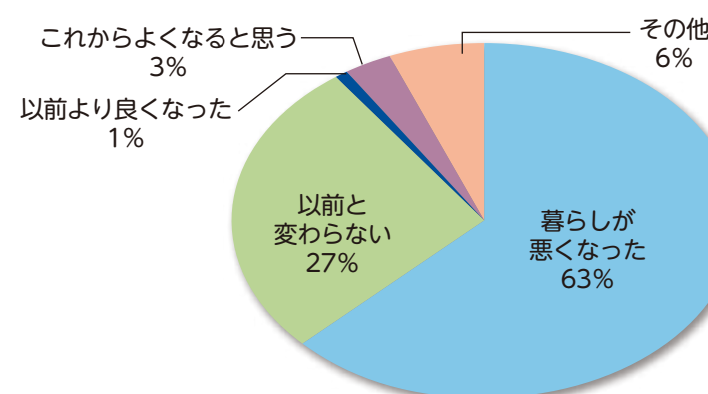
子どもたちが生活の大半を過ごす学校の教室には、エアコンもストーブ(小学4年以上)も設置されていません。今現在も寒い教室で授業を受けている状況です。

すべての普通教室へのエアコン設置については、政令指定都市20市中9市がすでに設置済み、または設置予定です。

「生活がきつい…」市民アンケートで寄せられた切実な声

市議団が行った市民アンケートには、「国保・介護保険料の負担が大変」「年金がわずかしかもらえず暮らしていない」など切実な声が寄せられています。暮らしと福祉を守ることこそ熊本市の役割です。

暮らし向きはどうですか？



市民の声を大切にするとたたかいたかい市政を